



八重瀬町 パークゴルフ大会

パークゴルフの普及と老人クラブの活性化、会員の健康づくりなどを目的に八重瀬町パークゴルフ大会が10月16日、糸満観光農園で開催され、各字の老人クラブから約180名が参加しました。参加者は、大会をとおし楽しくプレーし、会員の親睦や融和も図れた大会となりました。



第2回 壮年八重瀬町 スローピッチソフトボール大会 健康、交流を目的に開催

日頃運動不足になりがちな壮年を対象に、スローピッチソフトボール大会が10月9日、10日と17日の期間に東風平ソフトボール場等を会場（ナイター）にして行われました。大会の開催をとおし健康づくり、地域間の交流を図り親睦と融和を推進していくことを目的に開催されています。9チームがエントリーする中、決勝戦は安里チームが東風平チームを3対1で破り優勝を果たしました。



八重瀬町救命講習会開催

人命救助を目的に八重瀬町教育委員会、社会教育課が主催する八重瀬町救命講習会が10月24日、島尻消防本部で少年野球指導者20名を対象に開催しました。島尻消防本部職員に講師をお願いした講習会では、心肺蘇生法やAEDの使用法、応急救護の方法など救急車が到着するまでの間に行う必要な処置について学びました。社会教育課では、今後も講習を受けられる対象者を増やし緊急の事故に対処してく考えです。



八重瀬町敬老会が 開催されました。

八重瀬町敬老会が10月11日、東風平運動公園で開催され、約700名が集まりました。式典の中では、中村信吉町長から長寿に対する喜びとこれからの活躍を願いたいとあいさつがありました。式典後の余興には、みどりが丘保育園と港川保育園から可愛い遊戯や金城富美男率いる演劇、舞踊集団による余興が演じられ参加者を大いに楽しませました。



具志頭中学校で稲刈り

総合的な学習の時間を活用して稲作と関わり、多くの課題を見つけてほしいと具志頭中学校では、10月16日、具志頭中学校たんぼで稲刈りを行いました。7月に植えた稲も黄金色に輝き穂が垂れ、収穫の時期。生徒たちは全員裸足になってたんぼに入って稲刈りを行っていました。伊差川理奈さんは、「泥の中に入るまではためらいがちでしたがいざ稲刈りをやってみると夢中になっていました。思っていたよりもきつい作業で農家の人たちの大変さが身にしみてわかった気がします。」と話しました。また、「農家の人たちの苦労を考えてみて、これから給食も残さず食べるようにしたい」と今まで以上に前向きな気持ちになったと話していました。



沖縄県民生委員児童委員大会で八重瀬町から5名が表彰を受ける

「広げよう地域に根ざした思いやり」を主題にした沖縄県民生委員児童委員大会が11月1日、沖縄県コンベンションビューロで開かれました。県下の民生委員児童委員と関係者が一堂に会し、これまでの活動を顧みるとともに、今後の民生委員児童委員活動のあり方を探ることを目的に開催された大会では、八重瀬町から永年勤続民生委員児童委員として字上田原の国吉京子さん、九州社会福祉協議会連合会会長表彰として大倉ハイツの中田幸子さん、民生委員永年勤続表彰として字港川の金城ちえこさん、字当銘の永山敏子さん、字東風平の島添澄子さんの5名が表彰されました。



音訳サークル「やえせ」特別功労者賞を受賞

県内の社会福祉関係者が一堂に会し、社会福祉の動向や今日的課題等の共通理解を深め、今後の沖縄の地域福祉を増進していくことを目的にした沖縄県社会福祉大会が10月23日、沖縄県コンベンションセンターで開催されました。大会の中で、八重瀬町の音訳サークル「やえせ」(赤嶺洋子会長：写真前列左から2番目)がこれまでの功績がたたえられ特別功労賞(ボランティア団体)を受賞しました。平成6年に結成された音訳サークルは、今年の10月で13年目を迎えました。「視覚障害者に早い情報を」という思いで行政と社協が発行する、広報誌を読み上げテープに録音し、リスナーである視覚障害者の方に届けています。

また、音訳サークル「やえせ」は、他のボランティアのグループの模範にもなっており、行政や社協からも大きな評価を受けています。

